

## 中国・安丘の朝市

日本各地で朝市が開かれている。これまで石川県・輪島、岐阜県・高山などの朝市が印象深く残っている。更に小規模ではあるが宿泊したホテル内でも、コーナーを設け地元特産の民芸品から新鮮な食品が売られている。

ここ中国の青島より車で2~3時間、安丘市に所用があって宿泊した。あくる日に朝市が開かれていると聞き見学した。そこは朝市のイメージではなく大規模な市場であった。食料は何でも揃っている。安丘市は内陸部に位置するため魚介類では海の魚は全くなかった。鯉、鮒、ナマズ、ドジョウ、スッポンなどの淡水魚のみであった。驚いたことにサソリの子供、セミの幼虫から成虫もあり食文化の違いを感じた。



そう言えば夏真っ盛りの中国に来て、セミの鳴き声を聞いたことはない。日本ではこの時期セミの鳴き声で朝目覚めることもしばしば。しかし中国においてセミは食糧であり売り物なのだ。

肉は豊富で豚の頭そのままが置かれ、山盛りに積まれブロックが売られていた。私の好きな豚足もあったが少々グロテスクに見えた。鳥籠には生きたままのニワトリやハトが売られていた。その他、地元で取れた四季折々の新鮮な野菜が山積みになっていた。ここには冷凍食品とかインスタント食品は一切置かれていない。

日本は何処へ行っても殆ど同じ商品がスーパーマーケットに揃っている。便利ではあるが地元の特産品とか、取れたての瑞々しい野菜が少ないことに寂しい気がする。 撮影 2010年夏

